

28リ局第23号

平成28年12月5日

阿智村リニア対策委員会

会長 稲垣 孝光 様

長野県建設部リニア整備推進局

局長 水間 武樹

リニア中央新幹線整備に関する質問書 (No. 2) について (回答)

平成28年10月7日付け28阿地第57号にて当職あていただいたご質問に対し、別紙のとおり回答します。

阿智村リニア対策委員会の質問書（NO.2）に対する長野県の回答について

1 前回質問②の回答について

9月13日大鹿村の工事説明会で「工事の説明に対する質問が多くやった意味があった。」とJR東海は発言している。「工事の説明に対しての質問が理解を得られた」と受け取られるとすれば、質問することさえできない。「住民の理解・合意」についての県の見解をお示してください。

「住民の理解・合意」に関しては、JR東海が、事業主体としての説明責任を果たし、地域住民に対して、十分かつ丁寧に、説明を尽くした上で、地元自治体等を通じ、工事着手に関する地域の了解を得るものと理解しております。

このためには、質問と回答のやり取りも含め、地元との協議を積み重ねていくことが不可欠であります。県としましては、JR東海に対し、関係する地域住民のご意見・ご質問等を直接にお聞きし、意見交換等する機会を設け、また、こうした機会を重ねていくことを求めてまいります。

2 前回質問④の回答について

南木曾から排出される土について JR 東海は、「妻籠宿、昼神温泉を考えるとこの間で発生土置き場を見つけるのがよい。」と発言されましたが、国道 256 号は昼神温泉と木曾路を結ぶ重要な観光道路です。昼神温泉から国道 19 号や JR 中央本線、妻籠宿、馬籠宿との連携ルートとして重要な道路であり、阿智村も今春中津川駅と昼神温泉間のバスの試験運行を実施したところです。国道 256 号がダンプ街道になり、妻籠、馬籠宿や昼神温泉だけでなく国道 256 号沿いの観光関連施設への悪影響はまぬがれません。県は国道 256 号についてどのような見解をお持ちでしょうか。

国道 256 号に関しては、昼神温泉や木曾路などの観光拠点をつなぐ重要な観光道路であると認識しており、これまでも重点的に整備・改良に取り組んできたところであり、今後も未改良区間の改良等を進めてまいります。

ダンプの通行による観光関連施設への影響に関するご懸念は、十分理解できるところであります。一方で、安全な通行に必要な幅員を有する国道 256 号のような公道の通行について、工事用車両であることを理由に規制することは、法的には困難であります。観光業や住民生活への影響の抑止・低減策、又は安全対策について、協議を通じ、JR 東海との調整を図っていく必要があると考えております。

3 前回質問⑦の回答について

排出土運搬道路は JR 東海の対応のみでしょうか。発生土の運搬路確保に合わせた道路整備として県の考えをお示してください。

発生土の運搬道路については、リニア中央新幹線の建設工事に起因するものであるため、現道改良の場合も含め、基本的には、事業主体である JR 東海において対応すべきものと考えております。

県としましては、運搬道路の整備に関する地元のご要望等も踏まえ、また工事完了後の利用等も考慮し、必要に応じ、JR 東海の具体的な計画を基に、JR 東海と協議等することも想定しております。